



の いる 風景

佐藤 正次 さん



【さとう しょうじ さん】 白樺 68歳

- 千歳少林寺拳法協会理事長
 - 少林寺拳法千歳向陽台スポーツ少年団長
- 昭和62年から少林寺拳法千歳向陽台スポーツ少年団の団長、平成14年から千歳少林寺拳法協会理事長を務める。
連絡先 ☎090(8638)9644

少林寺拳法は、勇氣、思いやり、正義感を育む

少

林寺拳法は、日頃の練習を通じて、社会に役立つ人づくりを目指している」と話すのは、千歳少林寺拳法協会で理事長を務める佐藤正次さんです。

少林寺拳法は、昭和22年に香川県仲多度郡多度津町で発祥した、日本独自の武道。技術を身に付けることで、自分の考えをはっきり言える自信と勇気を身につけ、人と協力し合うことの楽しさ、大切さを学ぶことなどを目的としています。

佐藤さんは、昭和40年11月に静岡県浜松市で少林寺拳法に出会います。

就職した職場の同僚に少林寺拳法の達人がいて、「その方は、とにかく正義感が強くて格好の良い方。この人と一緒にやろうと、くっついていったのが少林寺拳法を始めたきっかけ」と振り返ります。

少林寺拳法は、見習いから1級、初段から9段までの資格があります。

佐藤さんが初段を取得したのは、昭和41年12月。「当時は、キックボクシングがはやっていた頃」と思い起こしながら、「段位を取得する試験はむずかしく、合格したときは、とてもうれしかった」とほほ笑みます。

現在は、7段の資格を有します。昭和49年7月、佐藤さんは浜松市から千歳市に転勤し、昭和62年には向陽台スポーツ少年団を開設します。

少年団を始めたきっかけは、「少林寺拳法が目指している社会に役立つ人づくり」と言います。

毎週、火・金には、近隣の小中学校で練習しています。現在、指導者5人、男女合わせて25人の団員を抱え、その半数は女子で、その中には有段者も数人います。

ここを最初に訪れる子どもたちには、「遊びにおいて」と言っているうえで、「遊び感覚で来ていた子どもたちも、練習を重ねるにつれて、次第に

強くなり、やさしくなり、礼儀正しくなっていくのが、目に見えて分かる」と目を細めます。

千歳少林寺拳法協会では、今年で20年目になるごみ拾いのボランティア活動を行っています。

「5月5日ごどもの日は、子どもたちが健全に育つことを願う日。このボランティア活動を通じて、子どもたちが『自分は、何らかの役に立っている』ということの喜びを感じ取ってほしい」と思い、平成15年から5月5日に実施している」と話します。

今年も各スポーツ少年団の団員9人が参加して、約5キロメートルの道路脇のごみ拾いと往來する車のドライバ―に交通安全を呼びかけました。

市内には、小中学生に少林寺拳法を教えるスポーツ少年団が6カ所あります。「興味のある方には、自宅近くのスポーツ少年団をご紹介しますよ」とやさしく語ってくれました。